

【教育目標】～未来に向かってたくましく生きる子どもの育成～



遠望

釧路町立遠矢小学校 学校便り

〒088-2152 釧路町南陽台10丁目1番地

TEL:0154-40-3424

Fax:0154-40-3426

No 11 令和7年2月21日発行

◇遠矢小学校HP◇

<https://toyasho.kushirocho.ed.jp>



遠矢小学校ホームページでは、学校の活動の様子も定期的にお知らせしています。

「生成AIとの付き合い方」

2月は「逃げる」と言われる月ですが、本当にあっという間に過ぎ去ろうとしています。他の月に比べて2～3日少ないだけなのに、なぜかとても1日1日が早く感じます。そして、令和6年度も残すところ1ヶ月となりました。暖冬により例年より少ないと思っていた雪が、2月4日に一気に降るなど、ここ数年の不安定な気候は今年も変わらず私たちの生活に大きな影響を与えています。学校でその煽りを最も受けたのが、スケートリンクでした。教職員の懸命の水まき作業にも関わらず、暖かかったり、突然の降雪に見舞われ、思うようにスケート授業ができない今冬になってしまいました。天候が理由とはいえ、スケート靴を用意してくださったご家庭の皆様にはご迷惑をおかけしました。

さて、巷ではAIの功罪についてはいろいろ言われるようになってきましたが、無視できないレベルにまでAIが進化してきたことは紛れもない事実です。日本のデジタル競争力は進んでいるとは言えず、「デジタル人材育成強化」が喫緊の課題と言われます。一方で、デジタルの活用を目的にするのではなく、あくまで手段として利用し、「デジタルの力でリアルな学びを支える」という発想が大切とされています。昨今話題になることが多い、生成AI（有名なChatGPT等）も圧倒的な情報量の蓄積により、原稿執筆を始めとして様々な分野で応用できる可能性があると言われていています。先日の新聞でも、画像生成AIを用いて、単語を入力すると「それらしい絵」が数秒でできあがるという事例が紹介されていました。プログラミングの技術や絵を描くための技量がなくても言葉を入力するだけで、完成するそうです。



校長 成瀬 剛 慈

私は普段はあまり生成AIを用いることがないのですが、試しにどのような「解答」が出るのかを試してみました。

例えば、多くの皆さんが目にしたことがある「星の王子さま」についてChat GPTに聞いてみました。

【質問】「星の王子さまの魅力は何？」

①大人と子どもの視点の違い、②象徴的なキャラクター、③愛と友情のメッセージ、④詩的で美しい文章、⑤子どもから大人まで楽しめる普遍性、という観点でそれぞれの項目ごとにコメントが書かれていましたが、なんとなく「星の王子さま」の魅力を言い当てていないような気がしました。しかし、これで生成AIの限界を論じるのは尚早な気がしたので、少し質問を変えてみました。

【質問】「星の王子さまが、感動する理由」

①純粋な視点からの人生の洞察、②「大切なものは目に見えない」というメッセージ、③愛と友情の大切さ、④詩的で美しい表現、と変わってきました。このような記述になると、私が感じたこの本の魅力が端的な言葉で言い表されている気がしてきました。

このように、生成AIは調べ方（与える条件）によっては、読んだ人の気持ちに近い文章（感想文等）を作ることができそうです。今のところ、人が感じるものと完全に合致する生成AIはありませんが、今後は膨大なデータを集積した生成AIを人がどのように活用するかが、これまで以上に問われてくると思います。

児童会全体集会（2月20日）

3年生以上の児童が参加し、今年度の委員会活動の報告を行いました。どの委員会も工夫をこらした活動を行うことができました。



■ 3月の主な行事 ■

1	土	
2	日	
3	月	安心メール配信日 歩こうWeeks 学年末清掃（～21日）
4	火	ショート時程 ALT 読み聞かせCT
5	水	卒業式練習（6年）
6	木	ALT
7	金	6年生を送る会
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	ショート時程 ALT
12	水	全校4時間授業（給食あり）
13	木	1～4年：4時間授業 卒業式総練習：5.6年
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	ショート時程 ALT 式場設営（5年生）
19	水	第105回卒業証書授与式（1～4年生臨時休業）
20	木	春分の日
21	金	全校4時間授業
22	土	
23	日	
24	月	修了式 離任式 3時間授業（給食なし）6年生登校日
25	火	学年末休業開始 ～4月7日まで
26	水	春休み
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

※行事は予定です。今後の状況により変更することもあります。